

ジャザってなんじゃ？ 園長・なまえ

かみね動物園は、日本動物園水族館協会の一構成員なのじゃ。この協会の英語表記の頭文字が JAZA なので、私たち職員は「ジャザ」と言ってるのじゃ。

※日本動物園水族館協会⇒Japanese Association of Zoos and Aquariums

JAZA 所属園館数

動物園	89
水族館	50
計	139

(2024.5.20 現在)



令和6年度総会

JAZA では、動物園水族館の果たす4つの役割を掲げ、動物福祉や希少動物の保全、安全対策や教育普及、調査研究など多岐にわたる事業を推進しているのじゃ。

JAZA の総裁は秋篠宮皇嗣殿下じゃ。そして全国を5ブロックに分けそれぞれの園館長の中から理事を選出し、さらにその中から会長、副会長が選出されるのじゃ。また6つの執行委員会が組織され、具体的な事業を推進しているのじゃ。みんなが話し合い協力することが大切なのじゃな。

JAZA では年1回の総会のほか、種の保存会議や技術者研究会、ゾウ会議、海獣研究会など様々な会議や、ブロックごとの会議もそれぞれに開催し、動物関連の研究や情報交換をしているのじゃ。理事を始め、こうした事業は事務局スタッフ以外、動物園水族館の園館長や職員が自園館業務のかたわら、手弁当で行っているのじゃ。



無理して「じゃ」って
言ってるんじゃないか？

カエルの歌が聴こえてくるかい・・・？ なかもと

はちゅうるい館を出たところに昨年現れた謎の展示、その名も「蛙池」。中には園内や市内で見られるカエルが4種類います。草、池、倒木、石、土などカエルが生息している環境に近づけるため一見するとなにもない草ボーボーの箱に見えますが、よ〜く探すとカエルが隠れています。土に潜っていることもあるので、全部見られるかはその時次第です！耳を澄ませばカエルたちの合唱が聴こえてくることもありますので、目と耳でお楽しみください。



トウキョウダルマガエル
「クアクアク…クア…クアクア」



ニホンアカガエル
「キャキャキャ…キャキャキャ」



ニホンアマガエル
「ゲコゲコゲコゲコ」



シュレーゲルアオガエル
「コロコロ…コロコロ」

キラキラ☆宝石みたいな虫

あつという間に春が終わり、もうすぐ夏ですね。その前に梅雨の季節がありますが。。

さて、今回の記事何を書こうかなと考えてみると7・8月と言えば、そう！夏休み。夏休みと言えば、海、山、川、虫、バーベキュー！！ということので今回は虫のことを書こうと思います。

今回紹介するのは、【アカスジキンカメムシ】日本で最も美しいとされるカメムシの一種です。キラッキラつやつつやのメタリックなボディ。綺麗ですね。ヤシャブシ等の広葉樹で見られます。ゾウ舎の寝室の水飲みの所にいるところで捕獲いたしました。



本当は獣医師的な内容を書こうかな？と思ったけど、隣の記事が鳥インフルエンザの話題でしたので虫の記事にしてみました。

次回担当の際は獣医師的な内容を書こうと思います。

かわせ

ホロホロチョウと鳥インフルエンザ…

かみね動物園のシマウマやキリンの展示場にホロホロチョウ達が自由に歩いている時期と、全くいない時期があります…それはなぜかという、【高病原性鳥インフルエンザ】が大きく関係しているのです。そして、それは私たちの生活にも影響があるのです…

鳥インフルエンザが国内で発生すると、感染しやすいにわとりなどの家禽類は野鳥から移されないように網目の細かいネットなどで野鳥対策をします。万一、施設内で鳥インフルエンザが発生した場合には、他に感染を広げないためにその施設内の家禽は全羽殺処分となります。私たちが普段口にする鶏肉や卵もこの影響を受けて生産数が減り、価格が高騰する原因にもなるのです。

そうならないためにも、環境省が指定している対応レベルに合わせて園内でも対応をしています。レベルは1~3まであり、石灰消毒、野鳥の侵入防止、屋内施設への収容などなど…。その関係で、かみね動物園のホロホロチョウ達は、普段出ているシマウマやキリンの展示場すべてを網で囲うことができないため、バックヤードに収容して見られない時期があるのです。

鳥インフルエンザが落ち着いて、対応レベルが1になったため、6月からシマウマの展示場で走り回るホロホロチョウ達が見られるようになりました！また次いつ発生するか分からないため、今見られる貴重なホロホロ達をぜひご覧ください。

はまだ

イベント情報

8月

3日(土)~31(土)

10(土)

10日(土)~15日(木)

夏の企画展

世界ゾウの日

ゾウフェスティバル

夜の動物園

詳しくはHPを
ご覧ください。

9月

1(日)

日付未定

園長ガイド

シルバーウィークイベント

